

萩窪12年5ヵ月監禁事件・民事裁判提訴！ こんな犯罪の横行を許す日本社会でいいのか！！



●拉致・監禁による強制棄教の実態

2008年2月10日、午後8時ごろ、世界基督教統一神霊協会（統一教会）の男性信者が渋谷にある教会本部に助けを求め、保護されました。実は彼は、1995年9月11日から実に12年5ヵ月間にわたって杉並区萩窪にあるマンションの一室に監禁されていたのです。以下は、その後藤徹さんの証言です。

『家族からの依頼を受け監禁部屋を訪れた私の担当脱会カウンセラーは、初め、新潟において、新津福音キリスト教会牧師、松永堡智（やすとも）であり、その後、萩窪においては、萩窪在住の脱会請負人、（株）タップ社長の宮村峻（たかし）という人物でした。宮村氏は、天沼陸橋にある萩窪フラワーホーム804号室の「監禁部屋」において私にこう言い放ちました。「もし自分の子どもが統一教会をやめなければ、オレは家に座敷牢を作って、死ぬまで閉じ込めておく！！』

信じがたいことに、成人男性のが信仰している宗教をやめさせるため、まさに座敷牢というべき監禁マンションで、脱会説得をするという、恐るべき犯罪、人権蹂躪がおこなわれていたのです。後藤さんは、その犠牲者として、12年5ヵ月間にわたり、監禁生活を送った末、放り出されるようにして解放され、教会に助けを求めるに至ったのです。

『拉致・監禁から12年5ヶ月経過した2008年2月10日の夕刻、突然「ここから出て行け！」と着のみ着のまま、804号室の玄関から放り出されました。私は茫然自失となり、やむなく、渋谷にある統一教会本部に助けを求めるために歩き出しました。しかし、途中でついに力つき、歩けなくなりました。夜も更け、わらをもつかむ思いで道行く人に声をかけ、助けを求めたところ、その人が偶然にも統一教会の信者でした。

その人に助けられ、何とか統一教会本部にたどり着くことができました。しかし、もはや自力では立ち上がることもできず、その日の夜中、病院に緊急入院しました。左の写真は入院3日目に撮影されたものです。』

●刑事告訴での不起訴から、民事裁判提訴へ

この後藤さんの事件は、氷山の一角に過ぎません。実は過去40年以上にわたり、4000人以上もの統一教会信者が同様に拉致・監禁され、棄教を強要されているのです。

後藤さんは、監禁から解放後、「刑法第220条の監禁罪、第221条の逮捕監禁致傷罪、第223条の強要未遂罪に該当するもの」として関係者を刑事告訴、監禁実行者たちは、東京地検に送検されました。しかし、明白な犯罪行為である拉致監禁の根絶を熱望する私たちの期待に反し、2009年12月、東京地検は、この事件を嫌疑不十分で不起訴処分といたしました。

この結果に到底承服できない後藤さんは、検察審議会に不服申し立てを行いました。

しかし、結果は、残念ながら『不起訴相当』で、申し立ては認められませんでした。議決通知書の内容は、ほとんど被疑者側の供述を採用しているばかりでなく、その供述も明らかな虚偽が含まれており、とうてい納得できるものではありませんでした。

後藤さんは、あくまでも監禁実行者たちの責任を問うために、宮村峻（たかし）・タップ社長、松永堡智（やすとも）新津福音キリスト教会牧師などを相手取って、2011年1月31日、東京地裁に民事提訴しました。同年3月22日に第1回口頭弁論、5月17日には第2階口頭弁論が行われました。

第3回口頭弁論は8月16日に行われる予定です。

裏に続く

日本のマスコミは、なぜ、この事実を報道しないのか？

●日本のマスコミに対する疑問

このような重大な事件であるにも拘らず、今に至るまで、日本ではほとんど報道されていません。

これが、特異な団体に係る事件だから報道しないのでしょうか。もし、そうだとすると、これほど重大な人権侵害を、中立公正な立場で報道しないのなら、日本のマスコミは、もはや正常に機能しているとは言えないのではないでしょうか。

下記の URL は、韓国の大手放送局 SBS が中立公正な立場で取材し、放送された内容に日本語の字幕を付けたものです。

基本的な人権が憲法で保障されている日本で、なぜ、これほどの事件が大々的に報じられないのか、理解しがたい思いを強く感じます。

韓国SBS『統一教会（統一協会）信者拉致監禁事件-きよみ13年ぶりの帰郷』

（日本語字幕版）2010年10月6日放映

YouTube でご覧になれます。 <http://www.youtube.com/watch?v=tmlHEQX38Ww>



携帯でも閲覧可能



韓国の三大TV局の一つ SBS によるドキュメンタリー番組です。深夜の時間帯に放映されたにもかかわらず、11.7%の高視聴率をマークし異例の反響を呼びました。中立の立場からの丹念な取材と関係者の証言で、日本の拉致監禁事件の背景と実態を浮き彫りにしています。

一皆様へのお願いー

私たちが良識ある皆様に願うことは、日本のマスコミではほとんど報道されていないこの重大な事件に関心を持っていただきたい、ということです。そしてこの犯罪と人権蹂躪をなくすため、共に立ち上がって頂きたいのです！御関心のある方は、ぜひとも一度、会のホームページをご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

●民事裁判提訴に関するブログ・ホームページ

後藤氏の裁判の進捗状況は、以下のリンク先に詳細な記事が書かれています。

参考にして下さい。

●拉致監禁 by 宮村の裁判記録 QR コード→

<http://antihogosettoku.blog111.fc2.com/>



「拉致監禁被害者後藤徹氏の裁判を支援する会」による裁判記録の公開ブログ

●火の粉を払え - 米本和広ブログ QR コード→

<http://yonemoto.blog63.fc2.com/>



ルポライター米本和広氏によるブログ

著書に『我らの不快な隣人』情報センター出版局 こちらもお勧めです。

●全国 拉致監禁・強制改宗被害者の会 QR コード→

<http://kidnapping.jp/index.html>



拉致監禁の被害を受けた統一教会信者による任意団体のブログ

※これらのリンクは、当会で作成しているものではありません。それぞれの管理者の責任で編集されています。

拉致監禁をなくす会（当会は市民団体であり、特定の教団・団体とは関係ありません。）

ホームページは以下（携帯でも閲覧可能）

URL： <http://rachi.info/> 連絡用メールアドレス： rachiinfo@gmail.com

会員募集中：当会は、賛同してくださる方の会への参加を募っております。

入会については、ホームページをご覧ください。

賛助金のお願い：当会は、賛同してくださる方の賛助金を募っております。

みずほ銀行 赤羽支店 普通口座 2041097 拉致監禁をなくす会

参考ホームページ：

夜桜館（よざくらあん）人知れず拉致監禁のPTSDと闘う夜桜のHP

<http://www5.plala.or.jp/hamahn-k/>

荻窪在住・統一教会脱会請負人「宮村峻」研究

<http://miyamurakenkyu.seesaa.net/article/171574483.html#more>